資料 放-21-2-1

無線通信研究委員会

WP 6A
(ジュネーブ)

報 告 書

平成 28 年 1 月 25 日 ～ 平成 28 年 2 月 3 日

目次

1. まえがき 1
2. 会議の概要 4
2.1 会議の構成 4
2.2 主要結論 4
3. 審議の内容 7
3.1 テレビジョン(SWG 6A-1) 7
3.2 保護 (SWG 6A-2) 16
3.3 共用(SWG 6A-3) 19
3.4 音声(SWG 6A-5) 25
4. あとがき 30
表 1 日本からの出席者 (7 名) 31
表 2 入力文書 (53 件) 32
表 3 出力文書一覧(24 件) 35

１．まえがき

国際電気通信連合無線通信部門(ITU-R)第 6 研究委員会(SG 6：放送業務)の作業部会WP6A(地上放送)会合が下記のとおり開催された。

開催日：	2016 年 1 月 25 日 ～ 2 月 3 日(10 日間)
開催地：	ITU本部(スイス・ジュネーブ)
議　長：	A. Nafez氏(イラン)
副議長：	W.Sami氏(EBU)、R. Bunch氏(オーストラリア) D. Hemingway氏(BBC)、P. Lazzarini氏(バチカン)、 L. Olson氏(アメリカ)、J. Song氏(中国)、
登録者：	29 ケ国＋10 機関から 93 名(事務局除く) 日本：五十嵐（総務省）、西田、根岸、成清、津田、緑川（NHK）、武田（民放連）（表 1 参照）
入力文書：	53 件（表 2 参照）
出力文書：	24 件（表 3 参照）

出力文書の概要

SG6 に提出:10 件

勧告改訂案：2 件

(1) ITU-R BT.2036「地上デジタル放送の周波数プランニング用標準受信システムの特性」(6A/TEMP/7)

(2) ITU-R BT.1206-2「地上デジタル放送のスペクトラム制限マスク」(6A/TEMP/12)

新レポート案：1 件

(1) ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT]「地上デジタル放送の測定に関するガイドライン」(6A/TEMP/10)

レポート改訂案：5 件

(1) ITU-R BT.2343-0「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」(6A/TEMP/6)

(2) ITU-R BS.2215-5「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」(6A/TEMP/8)

(3) ITU-R BS.2252「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」(6A/TEMP/9)

(4) ITU-R BS.2213「VHF帯のFM音声放送における信号処理と圧縮技術の影響」

(6A/TEMP/14)

(5) ITU-R BT.2344「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用上の特性および展開シナリオ」(6A/TEMP/16)

研究課題改訂提案：1 件

(1) 研究課題ITU-R 56-1/6「車載、携帯又は又は固定受信向けの地上デジタル音声放送システムの特性」(6A/TEMP/1)

その他：1 件

(1) 電力線通信(PLT)に関するラポータのSG6 からWP6Aへの移行(6A/TEMP/4)

継続審議：4 件

レポート改訂草案：2 件

(1) ITU-R BS.2214-1「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」(6A/TEMP/2)

(2) ITU-R BT.2382-0「地上デジタル放送受信機への干渉の概要」(6A/TEMP/11)

作業文書：2 件

(1) Handbook 草案「地上デジタル放送とマルチメディア放送の実用化」(6A/TEMP/21)

(2) 新勧告草案ITU-R BT.[BEYOND1stGEN]「第 1 世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法」(6A/TEMP/22)

その他：10 件

リエゾン文書：3 件

(1) WP5Aへのリエゾン文書「WRC-19 agenda item 1.1 について」(6A/TEMP/17)

(2) ITU-D SG2 およびITU-T SG5 へのリエゾン文書「RFハザードに関するラポータグループの設置」(6A/TEMP/18)

(3) WP6Bへのリエゾン文書「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験に関する情報」(6A/TEMP/23)

作業計画：1 件

(1) 「WRC-15 の決議・勧告に関連した作業計画」の策定 (6A/TEMP/15)

ラポータ/ラポータグループの設置：4 件

(1) RFハザードに関するラポータグループの設置 (6A/TEMP/3)

(2) ワイヤレス電力伝送(WPT)に関するラポータの設置 (6A/TEMP/5)

(3) マルチプレクス電力に関するラポータグループ(RG11)の ToR 改訂(6A/TEMP/13)
(4) CPM-19-1 により決まった研究に関するラポータグループの設置について継続検討(6A/TEMP/19)

コレスポンデンスグループの設置：1 件

(1) 地上デジタル放送とマルチメディア放送の実用化ハンドブックに関するコレスポンデンスグループの設置 (6A/TEMP/24)

その他：1 件

(1) FM 音声放送のマルチプレクス電力に関する測定キャンペーンの招待(6A/TEMP/20)

２．会議の概要

2.1 会議の構成

以下の 5 つのサブ・ワーキング・グループ(SWG)構成で審議にあたった。

SWG 6A-1	テレビジョン	議長：W.Sami氏(EBU)
SWG 6A-2	保護	議長：D. Hemingway氏(BBC)
SWG 6A-3	共用	議長：R. Bunch氏(オーストラリア)
SWG 6A-4	（未定義）	議長：－
SWG 6A-5	音声	議長：P. Lazzarini氏(バチカン)

※前会合まで、SWG 6A-4 は「その他」を扱うサブ・ワーキング・グループであったが、今会合では分類される入力文書がなかったため（未定義）とした。今後必要に応じてSWG 6A-4 を設置する可能性があるため空番とし、SWG6A-5 を従来通り「音声」とした。

2.2 主要結論

(1) UHDTV野外実験

・レポートITU-R BT.2343 改訂案「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」

各国のUHDTV地上波野外伝送実験結果をまとめたレポートの改訂提案である。

今会合で日本は、偏波MIMOを用いた単一放送波中継(SFN)の野外伝送実験結果を本レポートへ追加する提案をした。あわせて、日本では今年から衛星放送でのUHDTV試験放送を開始することと、地上放送についても研究を進めており、方式は未定だが実現に向けた取り組みを進めていることを紹介した。

審議の結果、特段の異論なく、レポート改訂案としてSG6 へ送付することに合意した。

(2) FPU (SAB/SAP)

・レポートITU-R BT.2344 改訂案「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用上の特性および展開シナリオ」

放送で利用されるSAB/SAPの技術パラメータ、運用特性、展開シナリオが記載されているレポートの改訂提案である。

今会合で日本は、Annex4 にDevelopment of SAB/SAP for UHDTVを新設し、日本の一つの事例として、120GHzを利用したUHDTV伝送に関する情報を追加する提案をした。イランより、伝搬損失は障害物による遮蔽損失も考慮されているのかとの技術的な質問があり、日本は表中に記載されている伝送距離に基づく自由空間損失のみであると返答した。アメリカは、本レポートに関する寄書を次会合で予定しているとコメントした。

審議の結果、レポート改訂案としてSG6 に送付することに合意した。

(3)　スペクトラムマスク

・勧告ITU-R BT.1206 改訂案「地上デジタル放送のスペクトラム制限マスク」

地上デジタル放送のスペクトラムマスクを規定する勧告の改訂提案である。

今会合でEBUは、コロンビアにおけるDVB-T2 プランニングで使用した 6MHz幅のスペクトラムマスクを追加する提案をした。EBUは、本勧告は隣接周波数帯への干渉を防ぐために地上デジタル放送の送信機に課すスペクトラムマスクを規定しており、勧告SM.1541 は隣接サービスとの共用検討のために地上デジタル放送と地上アナログ放送のスペクトラムマスクを規定していると説明した。また、7，8MHz幅のDVB-Tについては勧告SM.1541 の方が緩やかなスペクトラムマスクとなっており、共用検討において最悪ケースを適用できる一方、隣接サービスの保護を過剰に考慮する必要があると述べた。イギリスは、勧告SM.1541 は隣接周波数帯に共用相手がいることを想定した最悪ケースを示しているが、実際にその様な機器で運用している事例もあるため、勧告間でスペクトラムマスクが異なることに問題はないと述べた。

内容については特段の異論なく、勧告改訂案としてSG6 へ送付することに合意した。

(4)　ハンドブック

・ハンドブック草案「地上デジタル放送とマルチメディア放送の実用化」

2008 年 10 月会合で作成に合意して以来、長期に渡りラポータグループが編集作業を続けてきた、地上デジタル放送およびマルチメディア放送の導入に関するハンドブックの草案である。前会合でドラフティング作業を行ったが、文案が完成せず作業文書として議長レポート添付となっていた。

今会合で、ラポータグループ議長を務めるウクライナが前会合で作成した未完成の文案を提案したほか、韓国がT-DMBおよびAdvanced T-DMBに関するエディトリアルな修正を提案した。今会合中も早期の完成に向けて、ドラフティンググループによる文案の作成が継続された。

アメリカおよびオーストラリアは、ITU-Dにも地上デジタル放送移行に関するハンドブックが存在するため、本ハンドブックは冗長ではないかと指摘した。議長は本ハンドブックをITU-Dのレポートに対する技術的な補足文書であると位置付け、両文書を有用なものにすべきであると回答した。

今会合期間中の作業結果を反映した文案を、ハンドブック草案作成に向けた作業文書として議長レポート添付とすることに合意した。また、今まで作業を行ってきたラポータグループを廃止し、新たにコレスポンデンスグループを設置することに合意し、日本も継続して作業に参加していくこととした。

(5)　評価

・新勧告草案ITU-R BT.[BEYOND1stGEN]「第 1 世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価手法」に向けた作業文書

第 2 世代地上デジタル放送の特性評価手法に関する新勧告草案に向けた作業文書である。

今会合でオーストラリアは、第 2 世代地デジ方式の評価方法に関する新勧告の作成を提案した。提案元のFreeTV Australiaは提案の背景として、アナログ放送からデジタル放送への移行において世界中でカバレッジの評価調査が行われているが、第 2 世代方式のカバレッジに対する評価結果が少ないことを説明した。その上で、勧告BT.1877(第 1 世代のプランニング基準)および勧告BT.2033(第 2 世代のプランニング基準)が規定するプランニング基準を維持することを前提に、第 2 世代方式で第 1 世代方式と同じカバレッジを実現するという原則に基づいた評価方法が必要であると述べた。特に、アナログ放送から第 2 世代方式への移行を考えている国にとっては、第 2 世代方式でアナログ放送と同じカバレッジを実現することが基本原則であるとした。

議論の結果、新勧告草案作成に向けた作業文書を議長レポート添付として継続審議とすることに合意した。

・レポートITU-R BT. 2252 改訂案「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」

地上デジタル放送のシステムA(ATSC)及びB(DVB-T)に関する客観的なカバレッジ品質評価の基本情報を取りまとめているレポートの改訂提案である。

前会合で中国がシステムD(DTMB)の追加を提案し、レポート改訂草案が議長レポート添付とされていた。

今会合で新たな入力はなく、また前会合での修正内容に対する意見もなかったため、レポート改訂案としてSG6 へ送付することに合意した。

３．審議の内容

3.1 テレビジョン(SWG 6A-1)

SWG6A-1 では、2 つのDG(DG6A1-A、DG6A1-B)を設置した。SWG会合を 3 回、DG6A1-A会合(議長：Einolf氏 (BBC))を 1 回、DG6A1-B会合(議長：Sami氏 (EBU))を 4 回開催し、26 件の入力文書を審議した。審議の結果、11 件のTEMP文書を承認し、2 件の勧告改訂案、1 件の新レポート案、3 件のレポート改訂案、1 件のリエゾン文書、4 件の議長レポート添付文書を出力した。

〇UHDTV野外実験

・レポートITU-R BT.2343 改訂案「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」

入力文書：6A/14 (日本)

出力文書：6A/TEMP/6(SG6 送付)

審議結果：

各国のUHDTV地上波野外伝送実験結果をまとめたレポートに、日本で実施したSFNを用いた 8K地上波野外伝送実験結果を追加するレポート改訂案の審議である。

今会合で日本(6A/14)より、偏波MIMOを用いた単一放送波中継(SFN)の野外伝送実験結果を本レポートへ追加することを提案した。あわせて、日本では今年から衛星放送でのUHDTV試験放送を開始することと、地上放送についても研究を進めており、方式は未定だが実現に向けた取り組みを進めていることを紹介した。SWG議長は、91Mbpsの伝送容量の実現について感銘を受けたとコメントした。また、BBCは日本の寄与に対して感謝の意を述べたあと、各実験のパラメータが記載されている表の更新が必要ではないかとコメントしたが、オフラインで更新が不要であることを確認した。

審議の結果、特段の異論なく、レポート改訂案(6A/TEMP/6)としてSG6 へ送付することに合意した。

・WP6Bからのリエゾン文書「UHDTV放送に必要なビットレート」

入力文書：6A/34 (WP6B)

出力文書：6A/TEMP/23(LS送付)

審議結果：

WP6BよりUHDTV放送に必要なビットレートに関する情報を求めるリエゾン文書である。

SWG議長がWP6Bに対してUHDTVの地上波野外伝送実験結果のコレクションレポートBT.2343 を紹介することを提案し、今会合で改訂した旨もあわせて

伝える内容のリエゾン文書(6/TEMP/23)をWP6Bへ送付することに合意した。

〇プランニング

・勧告ITU-R BT.2036 改訂草案「地上デジタル放送の周波数プランニング用標準受信機システムの特性」

入力文書：6A/652 Annex 2(前回議長レポート)、6/11(CBS)

出力文書：6A/TEMP/7(SG6 送付)

審議結果：

地上デジタル放送の周波数プランニング用標準受信システムの特性を規定する勧告に、ATSC受信機に関する複数の隣接チャンネルからの干渉特性の実験結果を追加する勧告改訂案の審議である。

前会合でCBS(6A/607)が、レポートITU-R BT.2215 に記載されているATSC受信機の特性(複数隣接チャンネルからの干渉)を本勧告にも記載することを提案した。Annex 2 の 1.2.4 節「複数の隣接チャンネル干渉閾値」のTable13 bisに、希望波をNチャンネル、妨害波をN+KおよびN+2K(K=1～10)チャンネルとした場合のD/U比が記載されており、継続審議となっていた。

今会合でCBS(6A/11)は、新たな情報の追加はなく勧告改訂案としてSG6 への送付を提案した。この提案に対してアメリカは、新しい測定方法が用いられた可能性があり、本国で確認中であるが結論が出ていないため、WP6Aの審議においては反対せず、SG6 で最終意見をコメントしたいと述べた。また、CBSに対して更なる補足情報を提供してほしいと要望した。アメリカのコメントに対してCBSは、改訂案はレポートITU-R BT.2215 に記載されている値を使用しており、同レポートの値はFCCの既存レポートから引用したものであると述べた。さらに、アメリカの独立研究機関やカナダのCRCの他、CTA(Consumer technology association)でも追認実験を実施していると回答した。また、レポートITU-R BT.221 では 75%以上のメーカの受信機を対象に分析していると説明した。

勧告改訂案(6A/TEMP/7)としてSG6 へ送付することに合意した。

〇評価

・レポートITU-R BT.2215 改訂案「テレビ受信機の混信保護比と過入力閾値レベルの測定」

入力文書：6A/652 Annex 3(前回議長レポート)、6A/10(CBS)

出力文書：6A/TEMP/8(SG6 送付)

審議結果：

テレビ受信機における混信保護比と過入力閾値の測定に関するレポートに、

10MHz帯域幅LTE信号が隣接チャンネルに存在する場合の、ATSCの混信保護比をAnnex 3Fとして追加するレポート改訂案の審議である。

前会合では、CBS(6A/605)が入力した内容に対してアメリカがAnnex 3Fの内容確認には時間を要すると主張したため、Annex 3F以外の改訂案がSG6 へ送付され、Annex 3Fのみ議長レポート添付として継続審議となっていた。

今会合でCBS(6A/10)は、新たな情報の追加はなくレポート改訂案としてSG6 への送付を提案した。イギリスは、保護比の測定方法としてオペレータがモニタリングする方法が記載されているが、実聴による音声評価ではなくコンピュータ処理による方法もあると述べ、前研究会期で入力した文書BBC(6A/41)に自動化手法が多く記載されていることを紹介した。CBSはこれに同意し、将来、本レポートのメインパートに反映する必要があると述べた。一方オーストラリアは、イギリスとCBSに対して、勧告BT.1368 や勧告BT.2033 は主観評価を行っているが、その評価方法の妥当性を記載する必要はないのかと質問した。これに対してイギリスは、映像を主観評価することに問題はないが、コメントした理由は音声データストリーミングを用いた別の評価手法も検討に値するためであると回答した。続けて、近年のテレビは映像が瞬間的に破たんした場合、直前のフレームを挿入するなど受信機側で補間する工夫がされているが、音声は同様の手法では音飛びが発生してしまう。傾向的に音声の方が映像より先に破たんするため、音声破たんをいち早く検知することが重要であると述べた。オーストラリアは、第 1 世代方式については勧告BT.1368 のAnnex.7 に適用方法が記載されているが、第 2 世代方式については勧告BT.2033 に記載がないため、第 2 世代方式の評価手法の確立が必要であるとした。

審議の結果、レポート改訂案(6A/TEMP/8)としてSG6 へ送付することに合意した。

・レポートITU-R BT.2252 改訂案「地上デジタル放送のシステムA、BおよびDの信号に関する客観的なカバレッジ品質評価」

入力文書：6A/652 Annex 5(前回議長レポート)

出力文書：6A/TEMP/9(SG6 送付)

審議結果：

地上デジタル放送のシステムA(ATSC)及びB(DVB-T)に関する客観的なカバレッジ品質評価の基本情報を取りまとめているレポートに、システムD(DTMB)に関する情報を追加するレポート改訂案の審議である。

前会合で中国(6A/610)がシステムD(DTMB)の追加を提案し、レポート改訂草案を議長レポート添付(6A/TEMP/267)として継続審議となっていた。

今会合で新たな入力はなく、また前会合での修正内容に対する意見もなかったため、レポート改訂案(6A/TEMP/9)としてSG6 へ送付することに合意した。

・新勧告草案ITU-R BT.[BEYOND1stGEN]「第 1 世代以降のDTTBシステムのカバレッジ評価を含む特性評価方法」作成のための作業文書

入力文書：6A/22 (FreeTV Australia)

出力文書：6A/TEMP/22(議長レポート添付)

審議結果：

第 2 世代地上デジタル放送のパフォーマンス評価手法に関する新勧告草案作成の審議である。

今会合でFreeTV Australia(6/22)は、第 2 世代地デジ方式の評価方法に関する新勧告の作成を提案した。提案元のFreeTV Australiaは提案の背景として、アナログ放送からデジタル放送への移行において世界中でカバレッジの評価調査が行われているのに対し、第 2 世代方式のカバレッジに対する評価が少ないことを説明した。その上で、勧告BT.1877(第 1 世代方式)および勧告BT.2033(第 2 世代方式)が規定するプランニング基準を維持することを前提に、第 2 世代方式で第 1 世代方式と同じカバレッジを実現するという原則に基づいた評価方法が必要であると述べた。特に、アナログ放送から第 2 世代方式への移行を考えている国にとっては、第 2 世代方式でアナログ放送と同じカバレッジを実現することが基本原則であるとした。また、オーストラリアではUHF帯だけでなくVHFバンドⅡでも地上デジタル放送を放送しており、性能が上がった第 2 世代方式のカバレッジ評価により、VHFバンドⅢのプランニングに何らかの影響が出る可能性があることも、オーストラリアが提案する理由の一つであると説明した。

アメリカが(自国がATSC3.0 を検討しているため)タイトルの第 2 世代という表現が少し分かりにくいのではないかとコメントしたところ、FreeTV Australiaは既存のITU-R勧告で使用されていると回答した。またフランスは、詳細検討して寄与が必要であれば次回会合で入力したいと述べた。

SG6 議長がevaluationの定義が曖昧なので明確にすべきと指摘し、これに対してFreeTV Australiaは脚注で補足すると回答した。アメリカは、DVB-T2 の評価方法に関する勧告のようなので、タイトルをそのようにしてはどうかと述べた。議論の結果、作業文書のタイトルを 2nd generationからbeyond 1st generationに変更し、文書冒頭のEditors' noteに、世代表記に関する更なる検討が必要である旨を記載することが提案され、新勧告草案作成に向けた作業文書を議長レポート添付(6/TEMP/22)として継続審議とすることに合意した。

〇保護

・レポートITU-R BT.2382 改訂草案「地上デジタル放送受信機への干渉の概要」

入力文書：6A/9(CBS)

出力文書：6A/TEMP/11(議長レポート添付)

審議結果：

本レポートの 1 章にはRF信号の干渉として帯域外輻射、都市雑音、相互変調、マルチパス波について記載されており、2 章には画質劣化(QEFからの劣化)を緩和する技術として時間インターリーブ、映像符号化、音声多重化等が記載されている。

今会合でCBS(6A/9)は、Annex 4 として地上デジタル放送受信機内の相互変調の測定方法と解析結果の追加を提案した。特段の異論はなく、レポート改訂草案を議長レポート添付(6/TEMP/11)として継続審議とすることに合意した。

〇エンジニアリング

・新レポート草案ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT]「地上デジタル放送の測定に関するガイドライン」

入力文書：6A/652 Annex 4(議長レポート添付)、6A/5(中国)、6A/12(CBS)

出力文書：6A/TEMP/10(SG6 送付)

審議結果：

地上デジタル放送の測定方法を記載した新レポート作成の審議である。2013 年 4 月会合にてウクライナ(6A/238)が新レポート作成を提案したが、記載内容が既知の情報のみであったため必要性に疑問を呈する意見が多く、継続審議するため作業文書として議長レポート添付(6A/264 Annnex 3)となっていた。その後、2015 年 2 月会合にてウクライナ(6A/549)が修正案を入力したが、出力文書を作成することなくNotedとした。

前会合でウクライナ(6A/620)は、6 章「地上デジタル放送のネットワークの測定と解析」に、6.1 章「基本的なネットワークの測定」、6.2 章「特異的なネットワークの測定」、6.3 章「測定機器の設置」の追加を提案し、これに審議結果を反映した新レポート草案作成に向けた作業文書を作成した。また、作業文書を議長レポート添付として継続審議としていた。加えて、前会合で中国はDTMBに関する入力を次会合で行う旨をコメントしていた。

今会合で中国(6A/5)が、3.5 章、5.5 章、6.2.4 章としてDTMBに関する情報の追加を提案したほか、CBS(6A/9)が 2.1 章に勧告 1 件、レポート 3 件の番号追加、5.2 章に送信マスクの参照先としてIEEE勧告の追加、5.6 章の削除を施した。また、ドイツが文中で多く使用されている略語の解説が必要と指摘したため、116 個の略語の解説を追加することとなった。

上記の内容および今会合での審議結果を反映した上で、新レポート案(6A/TEMP/10)としてSG6へ送付することに合意した。

・勧告ITU-R BT.1206改訂案「地上デジタル放送のスペクトラム制限マスク」

入力文書：6A/19(EBU)

出力文書：6A/TEMP/12(SG6送付)

審議結果：

地上デジタル放送のスペクトラムマスクを規定する勧告BT.1206 に、DVB-T(6MHz幅)のスペクトラムマスクを追加する勧告改訂案の審議である。

今会合でEBU(6A/19)は、コロンビアにおけるDVB-T2 プランニングで使用した 6MHz幅のスペクトラムマスクの追加を提案した。EBUは、本勧告は隣接周波数帯への干渉を防ぐために地上デジタル放送の送信機に課すスペクトラムマスクを規定しており、勧告SM.1541 は隣接サービスとの共用検討のために地上デジタル放送と地上アナログ放送のスペクトラムマスクを規定していると説明した。また、例えば 7、8MHz帯域幅のDVB-Tについては勧告SM.1541 の方が緩やかなスペクトラムマスクとなっており、共用検討において最悪ケースを適用できる一方、隣接サービスの保護を過剰に考慮する必要があると述べた。

イギリスは、勧告SM.1541 は隣接周波数帯に共用相手がいることを想定した最悪ケースを示しているが、実際にその様な機器で運用している事例もあるため、勧告間でスペクトラムマスクが異なることに問題はないと述べた。内容については特段の異論なく、勧告改訂案(6A/TEMP/12)としてSG6 へ送付することに合意した。

・SG1からのリエゾン文書（勧告SM.1541「帯域外領域の不要輻射」)

入力文書：6A/657(SG1)

出力文書：なし

審議結果：

SG1より勧告SM.1541の改訂を周知するリエゾン文書である。

審議の結果、特段の対応は必要ないということで合意しNotedとした。

〇ハンドブック

・ハンドブック草案「地上デジタル放送とマルチメディア放送の導入」

入力文書：6A/652 Annex 7(議長レポート添付)、6A/20(韓国)、6A/25、26、27、28、29、30、33(ウクライナ)

出力文書：6A/TEMP/21(議長レポート添付)

審議結果：

地上デジタル放送およびマルチメディア放送の実施に関するハンドブック草案の作成に関する審議である。2008 年 10 月会合で作成に合意して以来、長期に渡りラポータグループが編集作業を継続してきた。

前会合でドラフティング作業を行ったが、文案が完成せず作業文書(6A/652 Annex7)として議長レポート添付となっていた。また前会合では、今会合で完成しなければ、ITU-Dの予算協力のもと外部専門家の支援を得ることも検討することとなっていた。

今会合では、ラポータグループ議長を務めるウクライナ(6A/25、26、27、28、29、30)が前会合で作成した未完成の文案を提案したほか、韓国がT-DMBおよびAdbanced T-DMBに関するエディトリアルな修正を提案し、全ての修正案を反映した文書をウクライナ(6A/33)が入力した。今会合中も早期の完成に向けて、ドラフティンググループによる文案の作成が継続された。なお、ドラフティンググループの議長はSWG議長が務めた。

アメリカは、ITU-Dにも地上デジタル放送移行に関するハンドブックがあるため、本ハンドブックは冗長な内容となっているのではないかと指摘した。また、オーストラリアはAPTの途上国はITU-Dハンドブックを参考にしており、これまでと異なる情報の提供を避けるため、ITU-Dのプロジェクトにフィードバックしてもらうことが良いのではないかとコメントした。これらの意見に対してSWG議長は、本ハンドブックをITU-Dのレポートに対して技術的に補足するものと位置付け、双方の文書を有用なものにしたいと回答した。またドラフティンググループでは、ITU-Dレポートと重複する内容がないようにレビューしたが、作業は完了しておらず継続して取り組む必要であると述べた。

今会合期間中の作業結果を反映した文案を、ハンドブック草案作成に向けた作業文書(6A/TEMP/21)として議長レポート添付とすることに合意した。

・ハンドブック「地上デジタル放送とマルチメディア放送導入」作成のためのラポータ—グループ

入力文書：6A/652 Annex 10(議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/24(ToR)

審議結果：

前研究会期に設置されたWP6Aのラポータおよびラポータグループを示す文書である。前研究会期から継続するラポータおよびラポータグループの要否を審議した。

地上デジタル放送とマルチメディア放送の導入ハンドブック(6A/TEMP/21)作成のラポータグループについて、SWG議長は文案の完成に向けて集中的に

作業しなければいけないと述べた上で、今後の進め方として、①エディトリアル委員会のようなものを設置、②現在のラポーターグループにメンバーを追加して作業を継続するという 2 つの案を示した。この提案に対してWP6A議長は、8 年間作業してきたうち最後の数年はラポータグループ議長の単独作業となってしまったため、今後はチームで作業し次会合での完成を目指したいと述べた。また、前会合の議長レポートでは今会合で完成しなければITU-Dの協力を求めるとしていたことにも触れ、やり方を変えるべきと述べた。イギリスは、既存ラポータグループに新しいメンバーを追加することに疑問を示し、WP6A会合に出席するメンバーでないと会合期間中の相談ができないため、参加メンバーを中心に次会合までに作業してもらった方が良いと述べた。アメリカもWP6A議長とイギリスの意見に賛成し、ラポータグループ議長が準備作業を終えたので、今後は形を変えてコレスポンデンスグループとして最終作業を行うことを提案した。イギリス、WP6A議長もこの提案に賛成した。

SWG議長もこれらの提案に同意し、Hemingway氏(BBC)とDosch氏(NDR)にコレスポンデンスグループの共同議長をお願いしたいと述べた。また各章のレビュー担当者を決めており、今後の活動への参加についても了解を得ていると述べた。またドラフティング作業で大きく貢献したT.Vieracker氏(NDR)に対して感謝を述べた。

ラポータグループの廃止とコレスポンデンスグループのToRに合意した。

〇その他

・Report ITU-R BT.[Interference Description]作成のためのラポータグループ

入力文書：6A/652 Annex 10(議長レポート添付)

出力文書：なし(RG終了)

審議結果：

SWG議長は、新レポートが完成済みであることを説明し、活動を終了することに合意した。

・RG 6(Development of DTB Report)

入力文書：6A/652 Annex 10(議長レポート添付)

出力文書：なし(RG終了)

審議結果：

SWG議長は、ラポータグループ議長と相談した結果、今後レポートBT.2295 を更新していくための活動継続とToRの更新を提案した。

アメリカは、地上デジタル放送の新方式がない現時点でラポータグループを存続させることに懸念を示し、また継続させた場合、新方式をどのような手段

で本レポートに入力すれば良いのか質問した。これに対してSWG議長は、新方式の提案者が寄与すれば良いが、レポートの監視役としてラポータグループが必要ではないかと回答した。アメリカは、ATSC3.0 についてはATSCメンバーからの入力が必要であると述べた上で、ラポータグループの所掌は全方式なのか一部方式なのか質問した。ドイツは、このレポートは地上デジタル放送方式をまとめたものであるため、地上デジタル放送方式のシステム勧告が改訂されない限りこのレポートの改訂は必要ないのではないか、またラポータグループが本レポートのoverviewを修正することは良いが、新方式の追加は入力文書に基づいて行うべきではないかと述べた。さらにイギリスは、現時点ではラポータグループを継続しなくても良いのではないかとコメントした。これらの意見に対してSWG議長は、今会合では既存のToRをそのまま議長レポート添付とし、必要になった際にToRを見直すことを提案した。しかしWP6A議長は、今会合でラポータグループの活動を終了し、新方式が誕生した際にはプランニング勧告や評価勧告など多くの作業が必要になるため、それとあわせて本レポートを改訂すれば良いのではないかと述べた。審議の結果、ラポータグループを今会合で終了することに合意した。

・前研究会期からの持ち越し文書一覧

入力文書：6A/1(WP6A)

出力文書：なし

審議結果：

前研究会期から持ち越した文書を示す文書である。

特段の意見はなく、Notedとした。

・SG6 の各WPに割り当てられた文書一覧

入力文書：6A/21(SG6 議長)

出力文書：なし

審議結果：

SG6 議長が入力した、SG6 の各WPに割り当てられたITU-Rテキストが整理された文書である。

SWG議長は、SG6 議長からの入力文書を元にWP6Aに関係する研究課題、レポート、勧告を抽出した文書(Text of SG6 related to WP6A - TV.docx)を作成したことを紹介し、新たにdomainとareaの 2 列を追記したと述べた。

研究課題のdomain列はTV、Sound、TV/Soundのいずれかに分類しており、area列は分野(protection、planning、engineeringなど)を記載したと説明した。

また、TVに関する勧告はATV(アナログ放送)かDTV(地上デジタル放送)で

domainを仕分けたと説明した。特にSAB/SAPのユーザ要求に関する勧告については、ステアリング委員会においてSG6 でどの様な活動が可能かを議論した結果、周波数やアプリケーションに関する要求(ラジオマイクのユーザ要求も含む)を更新することであると説明した。その他、アナログ放送関連の勧告についてはいずれ整理が必要であるとコメントした。

また、レポートは同じ内容が複数の文書に記載されているものがあるため、今後整理が必要だが現時点ではそのままリストアップしたと述べた。

アメリカが勧告BT.1786 は廃止済みと指摘したほか、CBSがレポートITU-R BT.2384 はBS勧告であると指摘し、SWG議長は後ほど確認すると回答した。

入力文書(6A/21)についての特段の意見はなくNotedとした。

3.2 保護 (SWG 6A-2)

SWG6A-2 では、3 回のSWG会合で 6 件の入力文書を審議した。4 件のTEMP文書を出力し、1 件はSG6 へ送付、1 件はリエゾン文書、2 件は議長レポート添付となった。

〇RFハザード

・ITU-T SG5 からのリエゾン文書（ITU-T Q7/5）

入力文書：6A/2(ITU-T SG5)

出力文書：なし

審議結果：

ITU-T Q7/5 の進捗状況を知らせるリエゾン文書である。

ITU-T SG5 は昨年 10 月に開催され、WP6AはMazar氏(イスラエル)を中心にリモート参加するなどして情報共有を行ってきた。本文書はこの会合の結果を要約しており、新勧告ITU-T K.113、EMFについての技術レポート、環境マネジメントのガイドラインなどについて記されている。また、ITU-TからWHOモノグラフへ送付したコメントにはWP6Aからのコメントが含まれている。Notedとした。

・ITU-T SG5 からのリエゾン文書(WHOモノグラフ「RFフィールド：環境健康基準」第 2 章「発生源、測定及び被ばくについて」及び第 3 章「人体へのRF電磁フィールド」へのコメント)

入力文書：6A/3(ITU-T SG5)

出力文書：なし

審議結果：

ITU-T SG5 からITU-R SG1,3,5,6 およびITU-D SG2 に送付された情報提供の

リエゾン文書である。

EBUは、ITU-T SG5 からWP6Aに対して、WHOに対するコメントについての作業状況の提供を求めるとともにITU-R SG3 WP3LおよびWP6Aからのコメントを追加した旨を知らせるものであると説明した。Notedとした。

・ITU-T SG5 からのリエゾン文書（ICNIRP）

入力文書：6A/4(ITU-T SG5)

出力文書：6A/TEMP/3(議長レポート添付)、6A/TEMP/18 (LS送付)

審議結果：

ITU-T SG5 からWP6Aに対してICNIRPの文書に対するコメントを情報提供するリエゾン文書である。

SWG議長は、ICNIRPが今年 5 月に新しいガイドラインの審議を始めるため、ITU-T SG5 からコメントを提出する予定だが、このコンサルテーションは全ての組織にオープンな審議となっておりぜひコメントしてほしいと述べた。イギリスは、主管庁はICNIRPのガイドラインに従うため、特にMF帯とLF帯の放送への影響についてICNIRPの基準がどうなるか興味があるとコメントした。またイギリスは、FCCが既に 5Gを対象とした 6GHz～100GHzの対人への影響調査を開始しているとアメリカが述べたことに対し、問題が生じた時には迅速にSG5 関係者と連絡が取れるようにすべきとし、少人数のラポータグループが必要なのではないかとコメントした。SWG議長は、ラポータグループを設置するとし、ToR(6A/TEMP/3)に合意した。またラポータグループ設置に関しては、ITU-D SG2 およびITU-T SG5 へリエゾン文書を送付すべきとしリエゾン文書案(6A/TEMP/18)をSG6 へ送付することに合意した。

〇WPT, PLT

・PLTと有線電気通信システムに関する最近動向のレポート（研究課題ITU-R 221/1）

入力文書：6A/23(SG6 ラポータ(PLT)

出力文書：なし

審議結果：

ラポータ(Shaw氏)は、CENELCのPLTデバイス規格化におけるRFノイズの増加について、WP6Aに直接関係はしないが興味深いため報告した。同氏はWP6Aのラポータとして 12 月にCENELECの会合に参加したが、CENELCの文書が部外秘であったため今回は概要のみの記載であることを説明した。

Shaw氏は、30MHz以下のPart1 は既に施行され、Part2、Part3 も承認投票

の段階に入っていると述べた。また、本レポートの 2.4 章はMIMOの運用について記載しており、同会合でMIMOの運用に関して対処案が審議されたがコンセンサスが得られず、継続議論となったことを説明した。またShaw氏は、150kHz以下のRF雑音を出す機器が市場に出回っておりLF帯のRF雑音の増加が見込まれるため、放送への影響が懸念されると述べた。情報としてNotedとした。

・ラポータのToR

入力文書：なし

出力文書：6A/TEMP/4(SG6 送付)、6A/TEMP/5(議長レポート添付)

審議結果：

SWG議長は、PLTとWPTの 2 つのラポータの所掌事項について整理する必要があるとの認識を示した。それに対しWP6A議長は、もともとSG6 に属していたラポータなので、WP6Aに移行するにはSG6 に提案して承認してもらう必要があると述べた。審議の結果、SWG6A-2 の所掌としてWPTのラポータを設け、ToR(6A/TEMP/5)に合意した。また、PLTに関するラポータは、SG6からWP6Aへ移行し、新たにToR(6A/TEMP/4)を作成した後、SG6 へ送付することに合意した。WP6Aでは、RFハザードのRGと重複するのではないかといったイランからの指摘に対し、イギリスがEMCはRFハザードと異なり人体に危険を及ぼすものではないと説明した。

〇関連文書

・SG6 の関連文書一覧

入力文書：6A/21（SG 6 議長）

出力文書：

審議結果：

SG6 議長が入力した、SG6 の各WPに割り当てられたITU-Rテキストが整理された文書である。

SWG議長は、本SWGでの役割はRRで分配されていないサービス（RFハザード、IMT、WPTなど）から放送業務を保護するものだと理解していると述べた。

WPTに関するWRC-19 issue9.1.6 については特段意見なくNotedとした。SWG議長は、WP6Aの第 1 回plenaryでWPTはSWG6A-2 の所掌にすべきとの意見が挙がったことと、イギリスからWRC19 の議題ではないため独立したラポータにすべきとの意見が挙がったことを確認した。

・WP6Aのラポータ/ラポータグループ

入力文書：6A/652 Annex10(議長レポート添付)

出力文書：なし

審議結果：

SWG6A-2 に関連するラポータ報告はなく、Notedとした。

3.3 共用(SWG 6A-3)

SWG6A-3 では、放送と他業務との共用に関して、4 回のSWG会合で 13 件の入力文書を審議した。レポート改訂案 1 件、リエゾン文書案 1 件、議長レポート添付 2 件の計 4 件のTEMP文書を作成した。

〇SAB/SAP（FPU）

・レポート改訂案ITU-R BT.2344「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用上の特性および展開シナリオ」

入力文書:6A/15 (日本)

出力文書:6A/TEMP/16 (SG6 送付)

審議結果:

SAB/SAPに関する情報を記載したレポートITU-R BT.2344 の改訂提案の審議である。

日本は、Annex4 に Development of SAB/SAP for UHDTVを新設し、日本の一つの事例として、120GHzを利用したUHDTV伝送に関する情報を追加する提案を行った。議長は、伝送容量を拡大するためのMIMOについて、大変素晴らしく興味深いとコメントした。また、自国のオーストラリは 7MHz帯域幅であり、ハイビットレートの向上が目指せるとコメントした。イランより、伝搬損失は障害物による遮蔽損失も考慮されているのかとの技術的な質問があり、日本は表中に記載されている伝送距離に基づく自由空間損失のみであると返答した。アメリカは、日本の寄書に敬意を示すとともに、

SAB/SAPに関する事項をWP6Aの検討項目とすることを提案すると共に、本レポートに関する寄書を次会合で予定しているとコメントした。

議長は、日本に対していPDRRepとするのかそれともDRRepとするのかと質問し、日本は、DRRepを希望したところ、タイトルからProposedが削除されDRRepとしてSG6 への送付に合意した。

・レポート改訂案ITU-R BT.2338「694-790Mz帯における第 1 地域が使用しているSAB/SAPの周波数と同位の一次業務として分配されている携帯サービス」

入力文書:6A/13 (CBS)

出力文書:なし

審議結果:

第 1 地域の 694-790MHz帯におけるワイヤレスマイクの周波数利用状況が記載されている、WRC-15 議題 1.2 のSAB/SAPに関連して作成されたレポートの改訂案の審議である。

今会合で、CBS(6A/13)はタイトルの意味がわかりづらいとして、タイトルの修正を提案した。これに対してイギリスは、本レポートのタイトルはJTGでの議論を経て決めたデリケートなものであり、変更する場合はSG5 とSG6 の両方の承認が必要となるため、無理に変更すべきではないとコメントした。CBSもイギリスの意見に賛同し、修正しないこととなった。

〇共用検討

・レポート改訂草案ITU-R BT.2337「470-694/698MHz帯における地上デジタル放送とIMTを含むモバイル用アプリケーションの共用と両立性に関する検討」

入力文書:6A/652(前回議長レポート添付)

出力文書:なし

審議結果:

2014 年 11 月のSG会合で、アメリカとカナダの保留付きで承認されたレポートであり、前々回および前回のWP6A会合では保留を外すための改訂に向けた審議をCBS(6A/606)、アメリカ(6A/298)、カナダ(6A/292)の寄書に基づき行った。レポート本文のSection Ⅱにアメリカが提案する一文を追加、Section ⅡのAnnex 2(ATSCの共用検討)の一部修正を行ったが、アメリカとカナダの保留付きが外れることはなく、継続審議のため議長レポート添付となっていた。また前会合で、本レポートはSG5(WP5D)とSG6(WP6A)が共同で承認する必要があるため、レポート改訂草案についてコメントを求めるリエゾン文書(6A/TEMP/269)をSG5(WP5D)に送付していた。

今会合で、BBCがリエゾン文書の返信が来るまで継続審議にすることを提案し、CBSもこれに賛成したため、次会合に持ち越すこととなった。

〇ワークプラン

・WRC-15 の決議・勧告に関連した作業計画

入力文書:なし

出力文書:6A/TEMP/15 Rev.1(議長レポート添付)

審議結果:

WRC-15 に関するRGの設置を検討する際に、最初に作業計画が必要であるとアメリカがコメントしたことから、議長が作業計画案を作成し議論を開始した。

議長は、前研究会期と同じ様式で、Annex AにワークプランAnnex BにWRC-19のAgenda Items、Annex CにWRC-23 のAgenda Itemsを記載した作業計画案であると説明した。CBSは、contributing groupは、concerned groupではないかと指摘したが、議長はCA/226 より引用していると返答した。また、アメリカは、CPMスタンダードでは、グループの種類はresponsible groupとconcerned groupの 2 つしかなく、 interested groupはconcerned groupのサブセットであるからconcerned interested group に変更したほうが良いとコメントした。修正した作業計画案を再審議し、WP6Aプレナリに送付した。

WP6Aプレナリでは、WP6A議長が、SWG2 でIssue 9.1.6(WPT関連)のラポータグループ設置に合意したと記憶しているとコメントしたところ、SWG2 議長は、前回のWP6Aのプレナリでラポータの設置が合意されたと返答した。SWG3 議長は、個人的な意見とし作業計画はWP6Aのものであり、タスクの数だけRGを設置することも出来るとコメントした。またイランが、作業計画には期限を決めたアクションの内容と最終目標が必要であり、アクションアイテムのリストだけではワークプランにはならないとコメントした。このコメントに対し、WP6A議長は、Annex Aに期限が記載されているので条件を満たしていると返答し、議長レポート添付に合意した。

〇ラポータグループの設置

・CPM19-1 により決まった研究に関するラポータグループの設置

入力文書：なし

出力文書：6A/TEMP/19 (議長レポート添付)

審議結果：

SWG3 議長が、WP6A議長より提案されたラポータグループの設置について意見を求めたところ、BBCは、ラポータグループの設置に賛成であり、issue 9.1.6 のWPT(ワイヤレス電力伝送)に関するラポータグループをSWG3 に、PLT(有線電力通信)に関するラポータグループをSWG2 に設置してはどうかと提案した。イギリスはBBCに賛同し、報告を含めたタスクを分けたほうが良いとコメントした。アメリカは、WRCに関するラポータグループの設置には賛成した上で、ラポータグループの通常活動は技術的な検討結果をWPに報告し、収集した情報をフィードバックするものだが、今議論しているラポータグループのアクションプランは何かと質問した。WP6Aの道筋を示すワークプランは別途作成することとなった(6A/TEMP/15 Rev.1)。

SWG3 議長は、今会合関連する寄与文書が無いため、ラポータグループの設置は次会合でもよいのではと提案したが、WP6A議長が、次会合は今年 10 月なので、今会合で設置しても問題ないと提案した。イギリスは、WP6A議長の意見に賛成し、準備しておいたほうがいいとコメントした。そこで、WRC-12 の時と同じフォーマットでSWG3 議長が作成したToR案を元に議論を行い、CPM19-1 全体に関するラポータ

グループの設置にSWGでは合意した。しかし、WP6Aプレナリにおいて、次会合で必要性を改めて審議することとし、議長レポート添付することで合意した。

なお、PLTに関するラポータグループ(6A/TEMP/4)とWPTに関するラポータグループ(6A/TEMP/5)は、共にSWG2 に設置することとなった。

〇リエゾン文書

・WP5Aへのリエゾン文書（WRC-19 議題 1.1 関連）

入力文書:6A/24(NDR, ZDF)

出力文書:6A/TEMP/17 Rev.1(リエゾン文書送付)

審議結果:

WRC-19 議題 1.1(第 1 地域において、50-54MHz帯をアマチュア無線サービスに分配することを検討)に関して、Concerned GroupのWP6AからResponsible GroupであるWP5Aへのリエゾン文書の議論である。

WRC-15 の決議 658 *d)*では、第 1 地域における 47-68MHzは放送サービスが 1 次業務となっており、ロシアは 50-54MHzは現在もRCCの国で使用しているとコメントし、LSテレコムはITUデータベースの情報を鑑みても保護する必要があるとコメントした。また、CBSは、この問題にはアフリカも含まれるとコメントした。BBCが作成したリエゾン文書案を元に、Conferenceの場所と年号のエディトリアルな修正を行った。コンタクトパーソンが空欄になっていたため、WP6A議長はSWG3 議長へ誰にするか質問したところ、SWG議長は第一地域の音声放送に詳しい人にお願いしたいと返答した。WP6A議長はWP5Aに参加する人にすべきと提案したところ、ロシアがWP5Aに参加するロシアのメンバーをコンタクトパーソンにしてもよいとコメントしたが、出席者が未確定であったため、最終的にコンタクトパーソンはWP6A議長となった。

またアメリカは、LSに記載されている勧告とレポートの一覧に勧告SM.851「VHF/UHF帯における放送業務と固定業務または移動業務の周波数共用」が含まれていたことから、アマチュア業務の扱いについて質問があり、SG1 のWPもリエゾン文書の送付先に含めてはどうかと提案した。SG1 の適切なWPが不明であったため、カウンセラーが調べて反映させることになり、リエゾン文書の送付に合意した。

・WP5Dへのリエゾン文書

入力文書:6A/24(NDR, ZDF)

出力文書:なし

審議結果:

WP5Dで検討している共用検討に用いるIMTシステムモデルの新勧告M.[IMT_Model]について、WP6AではJTG4-5-6-7 と同様にIMTネットワークからの干渉に関する検討を実施したことと、WP6Aで作成したITU-Rレポート番号の周知、

および新勧告の作業状況をWP6Aに知らせるよう依頼するリエゾン文書案である。

議長が、空欄になっているコンタクトパーソンについて質問したところ、イギリスは、実際にWP5D会合に出席してリエゾン文書を説明するか、もしくは情報を取得できれば良いのであるから、リエゾン文書の送付はペンディングすべきではないかとコメントした。NDR(寄書提案)もイギリスの意見に賛同し、今回の送付は必要ないとコメントした。またアメリカも送付に反対したため、本リエゾン文書案は送付しないこととなった。

・WP5Cからのリエゾン文書

入力文書:6A/653(WP5C)

出力文書:なし

審議結果:

勧告改訂案ITU-R F.758-5 および新勧告案ITU-R F.[FS DEPLOY]について周知するWP5Cからのリエゾン文書である。

勧告改訂案ITU-R F.758-5 は、固定デジタルシステムの共用基準を定めた勧告であり、改訂内容は 40.5-43.5GHz, 59-64GHz, 64-66GHz及び 71-76/81-86GHz帯における固定業務の新たなシステムパラメータの追加及びいくつかのエディトリアル修正である。また、新勧告案ITU-R F.[FS DEPLOY]は、勧告ITU-R F.758 と共に、固定業務とその他業務との共用/干渉検討に用いることを目的とした新勧告案である。

イギリスとBBCは、いくつかの主管庁が 40GHz帯などをFPUで使用しているとコメントした。またLSテレコムは、自国ドイツで 40GHzは放送のFixed用として使用しており、その他幾つもの国が使用していると思うとコメントした。アメリカは、このリエゾン文書はWP5Cのシステムのアップデートを知らせる情報であるため、対応は不要であるとした。しかし、議長は記載されている周波数が 84GHzまであり、放送にも関係するとコメントしたが、イランがNotedを提案し、合意され議論が終了した。

・WP5AからWP1Aへのリエゾン文書(WP6Aにはコピー送付)

入力文書:6A/654(WP5A)

出力文書:なし

審議結果:

WP5AからWP1Aへのリエゾン返書であり、WP6Aには情報文書としてコピー送付されたものである。

WP1Aで作成している新レポート草案ITU-R SM.[CHAR UNWANTED]に向けた作業文書「広帯域通信システムで使用されているデジタル変調技術に対する帯域外領域およびスプリアス領域における不要輻射の特性」に対するWP5Aの意見が記載

されている。

イギリスから今回特段の対応は必要ないとコメントがあったため、Notedとした。

・SG5 からのリエゾン文書（勧告ITU-R F.1777）

入力文書：6A/655(SG5)

出力文書：なし

審議結果：

勧告ITU-R F.1777「共用検討に用いるための固定業務に分類される屋外中継、ENG及びEFPのシステム特性」の改訂について周知する、WP5Cからのリエゾン文書である。本勧告には、放送番組制作時の中継等に用いる固定無線システム(TVOB、ENG及びEFP)について、他のシステムとの共用検討の際に用いるシステム特性が記載されている。

日本は本勧告の表の中で空欄の部分があるため、次回のWP5C会合で寄与文書を予定しているとコメントした。Noted。

・SG5 からのリエゾン文書（勧告ITU-R F.758-6）

入力文書：6A/656(SG5)

出力文書：なし

審議結果：

勧告ITU-R F.758-6「固定業務におけるデジタル固定無線システムと、その他の業務及びその他の干渉源となるシステムの共用又は両立性についての基準の策定に関するパラメータ及び検討」の改訂について周知するSG5 からのリエゾン文書である。本勧告には、固定デジタルシステムの共用基準を定めた勧告であり、同内容のリエゾン文書がWP5C(6A/653)より届いているため、特段の意見無くNotedとした。

・SG5 からのリエゾン文書（研究課題ITU-R 256/5）

入力文書：6A/658(SG5)

出力文書：なし

審議結果：

新たに研究課題ITU-R 256/5「275-1 000GHzにおける陸上移動業務の技術特性および運用特性」を作成したことを周知するSG5 からのリエゾン文書である。

特段の意見無くNotedとした。

・SG5 からのリエゾン文書（研究課題ITU-R 1-6/5）

入力文書：6A/659(SG5)

出力文書：なし

審議結果:

研究課題ITU-R 256/5「陸上移動業務に必要な干渉保護比及び最小電界強度」の改訂について周知するSG5 からのリエゾン文書である。

特段の意見無くNotedとした。

〇その他

・前回期から今会期への引き継ぎ文書のリスト

入力文書:6A/1(WP6A)

出力文書:なし

審議結果:

前会期から今会期へ引き継ぐ文書のリストであり、前回議長レポート添付等が記載されている。特段の意見なくNoted。

・SG6 の関連文書一覧

入力文書:6A/21(SG6 議長)

出力文書:なし

審議結果:

SG6 議長が入力した、SG6 の各WPに割り当てられたITU-Rテキストが整理された文書である。

特段の異論なくNotedとした。

3.4 音声(SWG 6A-5)

SWG6A-5 では、3 回のSWG会合で 7 件の入力文書を審議し、5 件のTEMP文書を出力し、2 件をSG6 へ送付、3 件を議長レポート添付とした。マルチプレクス電力に関してはDG(議長：Ekome氏(フランス))にて審議した。

〇研究課題

・研究課題 ITU-R 56-1/6 改訂案「車載、携帯又は固定受信向けの地上デジタル音声放送システムの特性」

入力文書：6A/652 Annex1(議長レポート添付)

出力文書：6A/TEMP/1 (SG6 送付)

審議結果：

前会合からの継続審議となっていた地上音声放送のデジタル化に関する研究課題 56-1/6 で、considering、decidesの一部修正を行い、研究課題改訂案(6A/TEMP/1)としてSG6 への送付に合意した。

〇RAVIS

・レポート ITU-R BS.2214-1 改訂案「VHF帯における地上デジタル音声放送システムのプランニングパラメータ」

入力文書：6A/7(ロシア)

出力文書：6A/TEMP/2 (議長レポート添付)

審議結果：

デジタル音声放送のプランニングパラメータが記載されているレポートITU-R BS.2214 の改訂提案の審議である。

今会合でロシア(6A/7)は、RAVISに関する実験結果の追加とレポートの章構成の変更を提案した。ドイツより、DRMについては記載位置が変わっただけで内容に変更はないかと確認があり、ロシアはその通りであり、共通パートの記述はDRMのintroductionから引用していると返答した。

SWG議長は、今会合でレポート改訂案としてSG6 へ送付とするか、議長レポート添付とするかについて意見を求めたところ、イギリスは多くの人に確認してもらうために議長レポート添付とすることを支持し、イランとロシアもこれに賛同したため、レポート改訂草案(6A/TEMP/2)として議長レポート添付に合意した。

〇マルチプレクス電力

SWG議長は、マルチプレクス電力関係の文書について、SWGでは寄与文書の紹介に留め、詳細な審議は今会期中にRG11(議長：フランス)の活動で行うとした。アメリカから、会期中はDGとして活動してはどうかと提案があり合意した。

・レポート ITU-R BS.2213「VHFのFM音声放送における信号処理と圧縮技術の影響」の改訂提案

入力文書：6A/16(ドイツ)

出力文書：6A/TEMP/14 (SG6 送付)

審議結果：

FM音声放送のマルチプレクス電力の影響について記載したレポートITU-R BS.2213 の改訂提案の審議である。

ドイツは、自国で行った測定結果を本レポートへ追加する提案をした。また、図 1 は既に記載されているハンガリーおよびフランスの測定結果との比較を、図 4 は測定系統を、表 1 と図 5 はマルチプレクス電力を 0dBrとした場合の複数受信機による測定結果を示していると述べた。また、図 6 はマルチプレクス電力を 0~9dBrに変化させた場合の結果であり、勧告BS.412 との比較になっていると述べた。さらに、第 5 章の図 9 は隣接chのマルチプレクス電力が増

えたときの影響を記載しており、詳細な結果はAnnexに記載してあると説明した。

SWG議長よりレポート改訂草案として継続審議することが提案されたが、DG議長が、改訂内容は合意されているためレポート改訂案としたいと述べた。イギリスもレポートは毎回改訂できると支持したため、レポート改訂案(6A/TEMP/14)としてSG6 へ送付することに合意した。

・FM放送のマルチプレクス電力に対するコメント

入力文書：6A/652 Annex8(議長レポート添付)、6A/17(ドイツ)

出力文書：なし

審議結果：

ドイツは、これまでに寄与されているフランス、ハンガリーの測定得結果と今回寄与したドイツの測定結果(6A/16)をもとにした、FM放送のマルチプレクス電力に関する考察(6A/17)であると説明した。また、マルチプレクス電力を5dbr上げるだけで音質の劣化が生じること、航空ナビゲーションに重大な影響を与える恐れがあること、リスナーに大きなメリットがないとした上で、放送局は勧告BS.412 で定められている 0dBrを厳守すべきであり、既存のパラメータを変えるべきでないと述べた。

DG議長は、ドイツの意見を考慮するとし、DGではどのような測定が必要なのか議論したいので、DGへの参加希望者は前回議長レポートのAnnex8 を確認して欲しいと述べた。

イランは、共用検討に使われているパラメータを変えない方が良いということだが、共用検討では常に 0dBrで検討するので影響ないのではと述べた。これに対してドイツは、0dBrという規定は長い間変わっていない値であり、共用検討ではこの値が使われているとした上で、新しいパラメータを用いると、これまでの共用検討結果が保証できなくなり他業務への影響が発生する恐れがあると回答した。またイギリスは、周波数帯の端においては、航空業務への影響を注意する必要があり、レポートの充実化を図る必要があると述べた。

ラポータグループにて継続審議することに合意した。

・RG11（FM音声放送における多重電力に関するラポータグループ）のToRの改訂提案

入力文書：なし

出力文書：6A/TEMP/13 (議長レポート添付)

審議結果：

DG議長はRG11 のToRの改訂案を作成したことを報告した。

アメリカよりToRの第 3 項目を「次会合の少なくとも 3 週間前に」と変更する提案があり修正されたのち、ラポータグループの継続に合意した。

・FM音声放送の多重電力の影響に関する測定キャンペーンの案内

入力文書：なし

出力文書：6A/TEMP/20 (議長レポート添付)

審議結果：

DG議長は、FM音声放送に与えるマルチプレクス電力の影響について、測定キャンペーンを行うことをWP1Cに対して提案するものであると説明した。イギリスは、WP1Cの所掌はモニタリングであり保護比の測定を行うことは所掌外だということ、SG1 の開催は年に 1 回であり返事に時間がかかるため生産的ではないことを指摘した。審議の結果、リエゾン文書は送付せず、各主管庁に対して測定を奨励する記述をWP6A議長レポートおよびSG6 のsummary recordに含めることを提案することとなった。

アメリカがラポータグループ外に測定キャンペーンを案内する理由は何かと尋ねたところ、DG議長は、WP6A議長レポート添付とすることで、より多くの主管庁やセクターメンバーに認知してもらうためと説明した。またカウンセラーより、これまでの経緯をSummaryとして付加したほうが良いとコメントがあり、修正版を議長レポート添付(6A/TEMP/20)とすること、およびWP6A議長からSG6 へ提案することで合意した。

〇ラポータ/ラポータグループ

・マルチプレクス電力とDSB移行のラポータグループ

入力文書：6A/652 Annex10(SG6 議長)

出力文書：なし

審議結果：

SWG議長は、WP6Aのラポータとラポータグループの一覧であることと、SWG5 に関係するものはFM放送のマルチプレクス電力とDSB移行の 2 つであることを紹介した。SWG議長は、DSB移行のラポータグループについて新レポートを作成したので今後活動を継続する必要があるか意見を求めたところ、ラポータグループ議長は、新レポートは承認されたが将来改訂案を寄与できると思うのでラポータグループを継続した方がよいとコメントした。これに対してイランやアメリカは、ラポータグループの所掌事項は新レポート作成となっており目的を達成したので、今後はセクターメンバーとしての寄与を期待したいと述べた。その他の意見はなく、DSB移行のラポータグループを終了することに合意した。

〇関連文書

・SG6 の関連文書一覧

入力文書：6A/21(議長レポート添付)

出力文書：なし

審議結果：

SG6 議長が入力した、SG6 の各WPに割り当てられたITU-Rテキストが整理された文書である。

特段の異論なくNotedとした。

４．あとがき

今会合は、WRC-15 以降初めてのWP6A会合であった。WP議長およびSWG議長が変わったものの、SWGの構成変更はなく会合が開催された。日本からは、2 件の寄与文書を入力した。

1 件目は、各国のUHDTV地上波野外伝送実験結果をまとめたレポートITU-R BT.2343 改訂案「DTTネットワークにおけるUHDTVの野外実験のコレクション」の改訂提案である。偏波MIMOを用いた単一放送波中継(SFN)の野外伝送実験を行った結果を本レポートへ追加する提案をした。特段の修正は無く、レポート改訂案としてSG6 へ送付することに合意した。

2 件目は、放送で利用されるSAB/SAPの技術パラメータ、運用特性、展開シナリオが記載されているレポートITU-R BT.2344「放送で利用されるSAB/SAPの技術的なパラメータ、運用上の特性および展開シナリオ」の改訂提案である。イランからの技術的な質問や、アメリカからの歓迎コメントがあった上で、レポート改訂案としてSG6 への送付に送付することに合意した。

上記 2 件とも、UHDTVに関する知見であり、議長および諸外国より大変興味深い事例であるとのコメントが得られ、日本の技術を十分にアピールできる改訂提案であった。

また、2008 年 10 月会合で作成が合意された地上デジタル放送およびマルチメディア放送の導入に関するハンドブックについてドラフティング作業を精力的に行った。今会合でも完成はしなかったが、次会合での完成を目指してコレスポンデンスグループを設置し、作業を進めることとなった。日本も継続して協力していく。

今後の会合に向けては、今回改訂提案を行った地上波およびFPUのUHDTVに関する情報の更なる追加やワイヤレスマイクのシステム勧告の改訂など、放送用周波数を用いたアプリケーションをアピールすると共に、共用検討に関する勧告・レポートにISDB-Tの情報を追加することで放送保護に繋げることを検討していく。

以上

表 1　日本からの出席者 (7 名)

氏　名	所属
五十嵐 徹	総務省　情報流通行政局　放送技術課　国際係長
西田 幸博	日本放送協会　技術研究所　テレビ方式研究部　上級研究員
根岸 聡	日本放送協会　技術局　計画部　副部長
成清 善一	日本放送協会　放送技術研究所　伝送システム研究部
津田 健吾	日本放送協会　技術局　計画部
緑川 均	日本放送協会　技術局　計画部
武田 篤	(一社)日本民間放送連盟 (株式会社フジテレビジョン　総合技術局IT技術ｾﾝﾀｰﾃﾞｼﾞﾀﾙ技術推進部 兼務 技術ｾﾝﾀｰ技術開発部　部長職)

表 2　入力文書 (53 件)

	入力 文書番号	提出元	文書名	審議 (SWG 6A-)	処理 文書番号 (6A/TEMP/)
1	6A/562	Chairman, WP6A	Report of the meeting of Working Party 6A (Geneva, 14 - 22 July2015)	—	Note
2	Ann.1	Chairman, WP6A	Proposed revision of Question ITU-R 56-1/6 . Characteristics ofterrestrial digital sound broadcasting systems for reception byvehicular, portable and fixed receivers	SWG6A-5	6A/1
3	Ann.2	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 .Characteristics of a reference receiving system for frequencyplanning of digital terrestrial television systems	SWG6A-1	6A/7
4	Ann.3	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2215-4 .Measurements of protection ratios and overload thresholds forbroadcast TV receivers	SWG6A-1 SWG6A-3	6A/8 Rev1
5	Ann.4	Chairman, WP6A	Preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT]. Guidelines on measurements for digital terrestrial televisionbroadcasting systems	SWG6A-1	6A/10
6	Ann.5	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2252 . Objectivequality coverage assessment of digital terrestrial televisionbroadcasting signals of Systems A and B	SWG6A-1	6A/9
7	Ann.6	Chairman, WP6A	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2337 . Sharing andcompatibility studies between digital terrestrial televisionbroadcasting and terrestrial mobile broadband applications, includingIMT, in the frequency band 470-694/698 MHz	SWG 6A-3	Note
8	Ann.7	Chairman, WP6A	Working document toward preliminary draft Handbook on digitalterrestrial television (DTTB) and multimedia implementation	SWG 6A-1	6A/21
9	Ann.8	Chairman, WP6A	Progress Report for RG11	SWG6A-5	6A/13
10	Ann.9	Chairman, WP6A	Liaison statements to other fora	—	Note
11	Ann.10	Chairman, WP6A	Rapporteurs and Rapporteur Groups of Working Party 6A	SWG 6A-1 SWG 6A-2 SWG 6A-3 SWG 6A-5	Note
12	Ann.11	Chairman, WP6A	List of SWG output (TEMP) documents (Documents 6A/TEMP/238– 6A/TEMP/271)	—	Note
13	6A/653	WP 5A	Liaison statement to Working Parties 1A, 1B, 3M, 4A, 4C, 5A, 5B,5D, 6A, 7B, 7C and 7D (copy for information to ETSI ATTM TM4,CEPT ECC PT SE19) - Development of draft revision ofRecommendation ITU-R F.758-5 and a draft new RecommendationITU-R F.[FS DEPLOY] - Recommendations on sharing orcompatibility studies between the fixed service and systems in otherservices	SWG 6A-3	Note
14	6A/654	WP 5A	Liaison statement to Working Party 1A (copy for information toWorking Parties 1B, 1C, 4A 4C, 5B, 5C, 5D, 6A, 7B, 7C and 7D) -Working document toward a preliminary draft new Report ITU-RSM.[CHAR-UNWANTED]	SWG 6A-3	Note
15	6A/655	SG 5	Recommendation ITU-R F.1777-1 - System characteristics oftelevision outside broadcast, electronic news gathering and electronicfield production in the fixed service for use in sharing studies	SWG 6A-3	Note
16	6A/656	SG 5	Recommendation ITU-R F.758-6 - System parameters andconsiderations in the development of criteria for sharing	SWG 6A-3	Note

			orcompatibility between digital fixed wireless systems in the fixedservice and systems in other services and other sources ofinterference		
17	6A/657	SG 1	Recommendation ITU-R SM.1541-6 - Unwanted emissions in theout-of-band domain	SWG6A-1	Note
18	6A/658	SG 5	Question ITU-R 256/5 - Technical and operational characteristics ofthe land mobile service in the frequency range 275-1 000 GHz	SWG 6A-3	Note
19	6A/659	SG 5	Question ITU-R 1-6/5 - Interference protection ratios and minimumfield strengths required in the land mobile services	SWG 6A-3	Note
20	6A/1	WP 6A	Documents to be carried over from the 2012-2015 study period	SWG 6A-1 SWG 6A-3	Note
21	6A/2	ITU-T SG 5	Liaison statement on information about work that is being carried out within work under study in ITU-T Question 7/5	SWG 6A-2	Note
22	6A/3	ITU-T SG 5	Liaison statement on comments to the WHO Monograph "Radio Frequency fields: Environmental Health Criteria", Chapter 2: "Sources, measurements and exposures" and Chapter 3: "Radiofrequency Electromagnetic Fields Inside The Body"	SWG6A-2	Note
23	6A/4	ITU-T SG 5	Liaison statement on comments to the ICNIRP documents	SWG 6A-2	6A/3 6A/18
24	6A/5	China (People's Republic of)	Proposed modification of working document toward preliminary draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG6A-1	6A/10
25	6A/6	Chairman, SG 6	Proposed organization of the work of the Study Group 6	—	Note
26	6A/7	Russian Federation	Proposal for revision to the Report ITU-R BS.2214-1 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands	SWG 6A-5	6A/2
27	6A/8	BR Study Group Depertment	This document has been withdrawn	—	—
28	6A/9	C.B.S., Inc.	Preliminary draft revision to Report ITU-R BT.2382 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	SWG6A-1	6A/11
29	6A/10	C.B.S., Inc.	Draft revision to Report ITU-R BT.2215-5 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	SWG 6A-1 SWG 6A-3	6A/8 Rev1
30	6A/11	C.B.S., Inc.	Preliminary draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/11
31	6A/12	C.B.S., Inc.	Draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/10
32	6A/13	C.B.S., Inc.	Proposed editorial improvement of the title of Report ITU-R BT.2338	SWG 6A-3	Note
33	6A/14	Japan	Proposed revision of Report ITU-R BT.2343-0 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks	SWG6A-1	6A/6
34	6A/15	Japan	Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2344 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG 6A-3	6A/16
35	6A/16	Germany (Federal Republic of)	Impact of multiplex power levels higher than o DBR on the RF protection ratio of sound broadcasting emissions in VHF band II	SWG6A-5	6A/14
36	6A/17	Germany (Federal Republic of)	Comments on discussion on MPX power in FM broadcasting	SWG6A-5	6A/20

37	6A/18	SG 6 Rapp. on Terminology	Report of the Rapporteur on Terminology	—	Note
38	6A/19	European Broadcasting Union	Proposal for revision of Recommendation ITU-R BT.1206-2 - "Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	SWG6A-1	6A/12
39	6A/20	Korea (Republic of)	Proposed modification to working document toward preliminary draft Handbook on digital terrestrial television (DTTB) and multimedia implementation - Handbook on Digital Terrestrial Television and Multimedia Broadcasting	SWG6A-1	6A/21
40	6A/21	Chairman, SG 6	Assignment of texts to the Study Group 6 Sub-Groups	SWG 6A-1 SWG 6A-2 SWG 6A-3 SWG 6A-5	6A/4 6A/5
41	6A/22	Free TV Australia Ltd.	Proposed draft new Recommendation - Methodology for evaluation of 2nd generation digital television broadcasting, including assessment of coverage	SWG6A-1	6A/22
42	6A/23	SG 6 Rapp. on PLT Issues	Report on recent developments concerning PLT and wired telecommunication systems (Question ITU-R 221/1)	SWG6A-2	Note
43	6A/24	Norddeutscher Rundfunk (NDR)	Liaison statement to Working Party 5D	SWG 6A-3	Note
44	6A/25	Ukraine	Proposed modification of Chapter 3 "Requirements to broadcast, terrestrial networks" of working document toward preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
45	6A/26	Ukraine	Proposed modification of Chapter 6 "Broadcast network planning" of working document toward Preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
46	6A/27	Ukraine	Proposed modification of Chapter 7 "Coordination procedures and sharing of frequency band" of working document toward Preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
47	6A/28	Ukraine	Proposed modification of Chapter 9 "System layer in digital broadcasting systems" of working document toward Preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
48	6A/29	Ukraine	Proposed modification of Chapter 18 "Digital TV receivers" of working document toward Preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
49	6A/30	Ukraine	Proposed modification of Chapter 19 "Contribution and news gathering systems" of working document toward preliminary draft Handbook on digital terrestrial television and multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/21
50	6A/31	Chairman, SG 6	Study Group 6 activities	—	Note
51	6A/32	BR Study Groups Department	List of documents issued (Documents 6A/1 - 6A/32)	—	Note
52	6A/33	RG on Development of Handbook on DTTB	Proposed editorial modifications of the working document towards Preliminary Draft Handbook on Digital Terrestrial Television and Multimedia Broadcasting Implementation	SWG 6A-1	6A/21
53	6A/34	WP 6B	Liaison statement to Working Parties 6A, 6C and WP 4B on bit rate requirements for UHDTV broadcasting	SWG6A-1	6A/23

(注)　Note: 情報として取り扱った文書 RG:RGで継続審議となった文書 CR:議長レポートの添付

表 3　出力文書一覧(24 件)

	出力文書番号 (6A/TEMP/)	文書名	審議 (SWG 6A-)	入力文書番号 (6A/)	処理 (Annex)
1	6A/1	Draft revision of Question ITU-R 56-1/6 - Characteristics of terrestrial digital sound broadcasting systems for reception by vehicular, portable and fixed receivers	SWG 6A-5	6A/652/An1	SG
2	6A/2	Preliminary draft revision to the Report ITU-R BS.2214-1 - Planning parameters for terrestrial digital sound broadcasting systems in VHF bands	SWG 6A-5	6A/7	CR (Ann.03)
3	6A/3	Terms of Reference of the Working Party 6A Rapporteur Group on RF Hazard issues	SWG 6A-2	6A/4	CR (Ann.10)
4	6A/4	Proposed transfer of Rapporteur from SG 6 to WP 6A	SWG 6A-2	－	SG
5	6A/5	Terms of Reference of the Study Group 6 Rapporteur on Wireless Power Transfer (WPT) issues	SWG 6A-2	－	CR (Ann.09)
6	6A/6	Draft revision of Report ITU-R BT.2343-0 - Collection of field trials of UHDTV over DTT networks	SWG 6A-1	6A/14	SG
7	6A/7	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.2036 - Characteristics of a reference receiving system for frequency planning of digital terrestrial television systems	SWG 6A-1	6A/652/An2 6A/11	SG
8	6A/8 R1	Draft revision of Report ITU-R BT.2215-5 - Measurements of protection ratios and overload thresholds for broadcast TV receivers	SWG 6A-1	6A/652/An3 6A/10	SG
9	6A/9	Draft revision of Report ITU-R BT.2252 - Objective quality coverage assessment of digital terrestrial television broadcasting signals of Systems A, B, and D	SWG 6A-1	6A/652/An5	SG
10	6A/10 Rev.1	Draft new Report ITU-R BT.[DTTBMEASUREMENT] - Guidelines on measurements for digital terrestrial television broadcasting systems	SWG 6A-1	6A/652/An4 6A/5 6A/12	SG
11	6A/11	Preliminary draft revision of Report ITU-R BT.2382-0 - Description of interference into a digital terrestrial television receiver	SWG 6A-1	6A/9	CR (Ann.02)
12	6A/12	Draft revision of Recommendation ITU-R BT.1206-2 - Spectrum limit masks for digital terrestrial television broadcasting	SWG 6A-1	6A/19	SG
13	6A/13	Proposed revision of ToR of RG11	SWG 6A-5	6A/652/An8 6A/652/An11 6A/16 6A/17	CR (Ann.07)
14	6A/14	Draft Revision of Report ITU-R BS.2213 - Impact of audio signal processing and compression techniques on terrestrial FM sound broadcasting emissions at VHF	SWG 6A-5	6A/16	SG
15	6A/15 Rev.1	Work plan related to WRC-15 Resolutions and Recommendations	SWG 6A-3	－	CR (Ann.06)
16	6A/16	Proposed draft revision of Report ITU-R BT.2344 - Information on technical parameters, operational characteristics and deployment scenarios of SAB/SAP as utilized in broadcasting	SWG 6A-3	6A/15	SG
17	6A/17 Rev.1	Draft Liaison statement to Working Party 5A (copy to Working Parties 5B, 5C, 3K, 3M) - WRC-19 Agenda item 1.1	SWG 6A-3	－	LS
18	6A/18	Draft liaison statement to ITU-D SG 2 and ITU-T SG 5	SWG 6A-2	6A/4	LS
19	6A/19	Establishment of a Rapporteur Group to undertake related studies called for by CPM19-1	SWG 6A-3	6A/73 (May 2012)	CR (Ann.08)
20	6A/20	Invitation to ITU-R Membership for a measurement campaign on the impact of the multiplex power of FM sound	SWG 6A-5	－	CR (Ann.05)

		broadcasting			
21	6A/21	Preliminary draft Handbook on Digital Terrestrial Television and Multimedia Broadcasting Implementation	SWG 6A-1	－	CR (Ann.04)
22	6A/22	Working document towards a proposed draft new Recommendation ITU-R BT.[BEYOND1stGEN] - Methodology for performance evaluation of digital television broadcasting beyond 1st generation DTTB systems, including assessment of coverage	SWG 6A-1	6A/22	CR (Ann.01)
23	6A/23	Draft liaison statement to Working Party 6B (copy to Working Parties 6C and 4B) - Information on field trials of UHDTV over DTT networks1	SWG 6A-1	6A/34	LS
24	6A/24	Annex XX to Working Party 6A Chairman's report - Establishment of a Correspondence Group on completion of Handbook on digital terrestrial Television and Multimedia broadcasting implementation	SWG 6A-1	6A/TEMP/21	CR (Ann.11)

(注)CR: 議長レポートに添付、LS: リエゾン文書送付、SG: SG6 に送付、Text: 議長報告本文に文章を記載、Note: 情報として取り扱った文書